



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月6日

上場会社名 第一化成株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4235 URL <http://www.dkktokyo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 淳文  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 山本 一良 TEL 042-644-6516  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	3,497	10.4	509	25.5	627	28.1	393	25.5
26年3月期第3四半期	3,169	22.9	406	—	489	497.0	313	624.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 405百万円 (26.2%) 26年3月期第3四半期 321百万円 (574.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	70.17	68.67
26年3月期第3四半期	56.10	55.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	4,354	3,071	70.5	534.09
26年3月期	3,725	2,699	72.3	481.97

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,068百万円 26年3月期 2,693百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,545	7.8	568	14.5	728	18.4	465	16.5	83.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	6,800,000株	26年3月期	6,800,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,055,158株	26年3月期	1,210,866株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	5,609,827株	26年3月期3Q	5,589,377株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、外国為替相場が円安に進行し、対米ドル為替相場は120円を向う様相を見せたものの、国内経済は消費税増税後の消費回復に遅れが見られております。また、中国の景気減速、原油安によるロシア等の資源国経済の悪化等の懸念材料により先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような状況の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、為替相場が円安基調で推移したに加え、委託生産による製品供給能力の向上により販売数量を増加してまいりました。また、当社製品の一部を販売しているウルトラファブックス社は、市場からのニーズをくみ上げる能力も高く、同社との新製品開発活動を積極的に進めることにより、高品質でありつつ顧客要求を実現する製品を開発してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は34億97百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益5億9百万円（前年同四半期比25.5%増）、経常利益6億27百万円（前年同四半期比28.1%増）、四半期純利益3億93百万円（前年同四半期比25.5%増）となりました。

用途別の業績は、次のとおりであります。

## ①家具・車輛用

米国の景気は緩やかな回復基調にあるため、家具・車輛用、買い替え需要による航空機用の販売が増加しております。EU市場においても販売に注力したため、徐々にではあるものの増加傾向で推移しております。

また、委託生産が順調に製品供給能力の増加に寄与したことや、為替相場が円安ドル高基調で推移したことにより販売実績を押し上げております。

この結果、家具・車輛用の売上高は26億26百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。

## ②手袋用

当社製品は世界でシェア50%を占めているFootjoyブランドのゴルフグローブに供給を始めてから20年経過しておりますが、新たに2014年後半から従来メインカラーであった“WHITE”から色数の多様化を提案しており、販売高が増加しております。また、シープスキンと当社製品との組み合わせた高付加価値商品が市場での地位を固めつつあります。

乗馬手袋用、ワーキンググローブ用は従来の実績に合わせて生産枠を確保しておりましたが、想定以上の受注により、生産が追い付かない状況にあります。

この結果、手袋用の売上高は4億51百万円（前年同四半期比31.7%増）となりました。

## ③その他

CAPRITAS®シリーズの商品は、主用途の衣料用に限らずそれぞれの特徴を生かした用途で使用され、安定生産に寄与しております。

衣料用のCapritas Fleureは米国・ドイツの大手アパレルメーカーからのオーダーが堅調に推移しております。供給数量に限りがあるため、必然的に販売先が絞り込まれ、その絞られた先からも、納期の早期化や供給数量の増加要請が来ております。

国内向け衣料用は市場規模の縮小の影響により数量は減少しているものの、引き続き付加価値の高い商品を開発し、需要を喚起しております。

この結果、その他の売上高は3億82百万円（前年同四半期比4.7%減）となりました。

## ④溶剤（DMF）

製品製造の過程において使用された溶剤（DMF）を回収し、再利用によるコストダウンを図りながら回収余剰分を販売しており、売上高は37百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は29億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億49百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1億53百万円減少したものの、棚卸資産が2億27百万円増加したことによるものであります。固定資産は14億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億80百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産の取得により4億90百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は43億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億29百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は8億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少いたしました。これは主に買掛金が85百万円増加したものの、未払法人税等が1億40百万円減少したことによるものであります。固定負債は4億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億64百万円増加いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が50百万円減少したものの、新工場建設のための支払準備として長期借入金が増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は30億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億71百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益3億93百万円の計上及び自己株式の減少74百万円があったことに対し剰余金の配当により67百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は70.5%（前連結会計年度末は72.3%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年11月7日の「平成27年3月期第2四半期累計期間における業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## (有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法について、従来、当社は定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更いたしました。

この変更は、生産設備における有形固定資産の使用実態を見直した結果、今後もさらに安定的な稼働が見込まれることが予想されることから、定額法がより経済的便益の費消を適切に表すとの理由によるものであります。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が12百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ12百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,247,682	1,093,891
受取手形及び売掛金	1,183,855	1,272,436
商品及び製品	134,630	276,784
仕掛品	23,826	37,125
原材料及び貯蔵品	73,967	145,957
その他	111,434	98,438
流動資産合計	2,775,397	2,924,633
固定資産		
有形固定資産		
土地	213,262	540,912
その他	303,854	466,744
有形固定資産合計	517,116	1,007,656
無形固定資産	12,910	13,818
投資その他の資産	419,625	408,516
固定資産合計	949,652	1,429,991
資産合計	3,725,050	4,354,625
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	218,137	303,772
短期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	185,615	44,638
賞与引当金	29,820	11,179
役員賞与引当金	16,500	21,000
その他	118,458	180,934
流動負債合計	868,532	861,525
固定負債		
長期借入金	—	314,720
退職給付に係る負債	88,445	81,629
役員退職慰労引当金	66,398	16,300
繰延税金負債	2,078	8,863
固定負債合計	156,921	421,512
負債合計	1,025,454	1,283,038
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	415,500	415,500
資本剰余金	240,120	240,120
利益剰余金	2,618,213	2,906,451
自己株式	△588,421	△513,734
株主資本合計	2,685,411	3,048,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,296	7,982
為替換算調整勘定	4,096	11,971
その他の包括利益累計額合計	8,392	19,953
新株予約権	5,791	3,296
純資産合計	2,699,596	3,071,587
負債純資産合計	3,725,050	4,354,625

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	3,169,232	3,497,283
売上原価	2,404,475	2,584,148
売上総利益	764,757	913,135
販売費及び一般管理費	358,687	403,630
営業利益	406,070	509,504
営業外収益		
受取利息	25	26
受取配当金	1,349	1,438
仕入割引	6,300	—
持分法による投資利益	70,804	112,003
その他	7,591	7,556
営業外収益合計	86,071	121,024
営業外費用		
支払利息	2,075	1,884
為替差損	299	1,080
その他	101	127
営業外費用合計	2,477	3,092
経常利益	489,664	627,436
特別利益		
新株予約権戻入益	7,338	—
投資有価証券売却益	—	3,450
特別利益合計	7,338	3,450
特別損失		
固定資産除却損	1,652	3,010
電話加入権評価損	276	—
特別損失合計	1,928	3,010
税金等調整前四半期純利益	495,073	627,875
法人税、住民税及び事業税	180,951	192,503
法人税等調整額	562	41,748
法人税等合計	181,513	234,252
少数株主損益調整前四半期純利益	313,559	393,623
少数株主利益	—	—
四半期純利益	313,559	393,623

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	313,559	393,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	916	3,686
為替換算調整勘定	6,610	7,874
その他の包括利益合計	7,527	11,561
四半期包括利益	321,087	405,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,087	405,184
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

当社グループは、合成皮革製品の単一セグメントであるため、記載を省略しております。